



# 株式会社ウェッジホールディングス 2013年8月 事業説明会

2013年8月29日

 Wedge Holdings

 [www.wedge-hd.com](http://www.wedge-hd.com)

# Contents

## 第一部 第3四半期累計決算内容

- 連結経営成績 (P/L)
- 各期の特殊要因を除いた収益比較
- 連結財務状況 (B/S)
- セグメント別業績

## 第二部 主要トピックス

- 連結純資産の大幅な増加
- 【ファイナンス事業】
  - ・新規契約数の拡大が持続
  - ・新規契約増の成果が収益に大きく反映
  - ・営業拡大で急速な貸出成長
  - ・売上高の順調な伸張
- 【コンテンツ事業】
  - ・売上不調、苦戦が続く
- 【その他の事業】
  - ・Zeavola Resortの貢献
  - ・Zeavola Resortの特長
  - ・高い顧客満足とリピート
  - ・ナチュラルリゾートとして高い評価

## 第三部 今後の取り組みと見通し

- ファイナンス事業の展望
  - ・タイ国内市場でも、一層の成長へ
  - ・タイ国内の地域的な営業拡大
  - ・GLの地域拡大の歴史
  - ・タイ国内 経済情勢
  - ・タイ国内は一層の収益力強化へ
  - ・カンボジア事業計画
  - ・首都プノンペンでの営業体制確立
  - ・Development forseen in 2013
- コンテンツ事業の展望
  - ・カードゲーム事業の開拓を推進

## 第四部 業績予想と目標その他トピック

- 2013年9月期業績予想
- 特別利益の処理変更の影響に関して



# 第3四半期累計 決算内容

# 連結経営成績 (P/L)

(単位:千円)

|       | 2012年9月期<br>第3四半期 | 2013年9月期<br>第3四半期 | 対前年比   |
|-------|-------------------|-------------------|--------|
| 売上高   | 2,419,212         | 3,533,668         | 146.1% |
| 営業利益  | 604,637           | 735,653           | 121.7% |
| 経常利益  | 661,284           | 821,059           | 124.2% |
| 当期純利益 | 172,598           | 614,367           | 356.0% |

# 各期の特殊要因を除いた収益比較

(単位:千円)

| 特殊要因除外 | 2012年9月期<br>第3四半期 | 2013年9月期<br>第3四半期 | 対前年比   |
|--------|-------------------|-------------------|--------|
| 売上高    | 2,419,212         | 3,533,668         | 146.1% |
| 営業利益   | 477,156           | 735,653           | 154.2% |
| 経常利益   | 495,711           | 790,259           | 159.4% |
| 当期純利益  | 130,777           | 149,465           | 114.3% |

## 各期に発生していた主な特殊要因と決算値からの補正内容

| 特殊要因     | 2012年9月期<br>第3四半期 | 2013年9月期<br>第3四半期 | 影響する段階利益 |
|----------|-------------------|-------------------|----------|
| 貸倒引当金戻入  | -127,481          | 0                 | 営業利益     |
| 為替差益     | -38,092           | -30,800           | 経常利益     |
| 持分変動利益   | 0                 | -190,595          | 当期純利益    |
| 持分変動損失   | 31,383            | 0                 | 当期純利益    |
| 負ののれん発生益 | 0                 | -258,607          | 当期純利益    |
| 繰延税金資産取崩 | 92,369            | 15,100            | 当期純利益    |

# 連結財務状況(B/S)

(単位:千円)

| 連結貸借対照表      | 2012年9月期   | 2013年9月期Q3 | 対前期末比  |
|--------------|------------|------------|--------|
| 流動資産         | 7,537,356  | 15,158,316 | 201.1% |
| 固定資産         | 2,919,440  | 3,803,846  | 130.3% |
| (内) 投資その他の資産 | 2,217,052  | 2,982,050  | 134.5% |
| 資産合計         | 10,456,797 | 18,962,162 | 181.3% |
| 流動負債         | 2,417,769  | 4,832,410  | 199.9% |
| 固定負債         | 1,535,781  | 3,969,985  | 258.5% |
| 負債合計         | 3,953,551  | 8,802,396  | 222.6% |
| 株主資本合計       | 4,734,041  | 5,383,173  | 113.7% |
| 純資産合計        | 6,503,246  | 10,159,766 | 156.2% |

|        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 流動比率   | 311.7% | 313.7% |
| 固定比率   | 61.7%  | 70.7%  |
| 株主資本比率 | 45.3%  | 28.4%  |
| D/Eレシオ | 74.2%  | 152.9% |

# セグメント別業績

(単位:千円)

| 報告セグメント  |         | 2012年9月期Q3 | 2013年9月期Q3 | 前年同期比   |
|----------|---------|------------|------------|---------|
| ファイナンス事業 | 売上高     | 1,562,791  | 2,907,625  | 186.05% |
|          | セグメント利益 | 584,846    | 870,018    | 148.76% |
| コンテンツ事業  | 売上高     | 541,487    | 447,510    | 82.64%  |
|          | セグメント利益 | 206,886    | 77,083     | 37.26%  |
| (合計)     | 売上高     | 2,419,212  | 3,533,668  | 146.07% |
|          | セグメント利益 | 604,637    | 735,653    | 121.67% |

※物販事業は第2四半期において事業譲渡を行ったことにより、連結より除外しております

# 主要トピックス

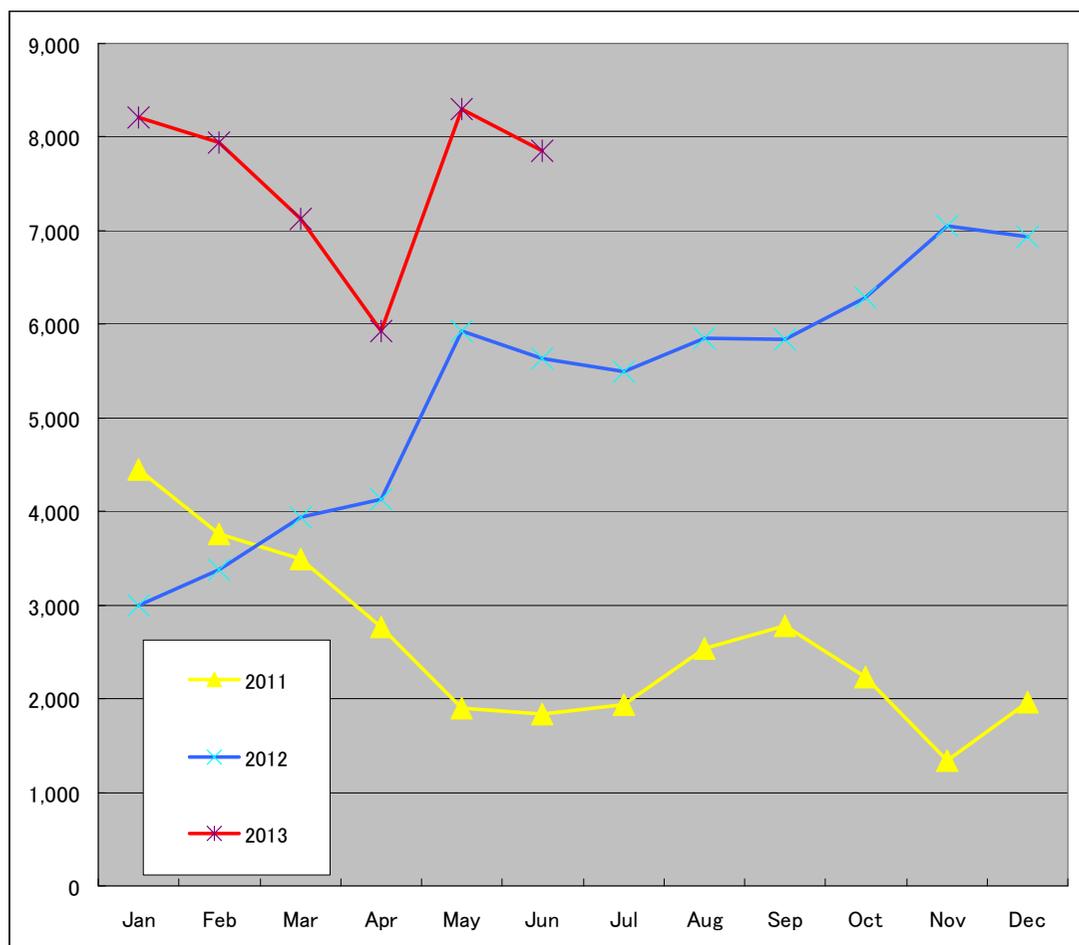
## 連結純資産の大幅な増加

| 連結貸借対照表 | 2012年9月期  | 2013年9月期Q3 | 差額        | 対前期末比  |
|---------|-----------|------------|-----------|--------|
| 純資産合計   | 6,503,246 | 10,159,766 | 3,656,520 | 156.2% |

❖ 純資産が100億円超に。約36.5億円と大幅な増加。

# 【ファイナンス事業】 新規契約数の拡大が持続

## ❖ 月間新規契約数推移



# 【ファイナンス事業】

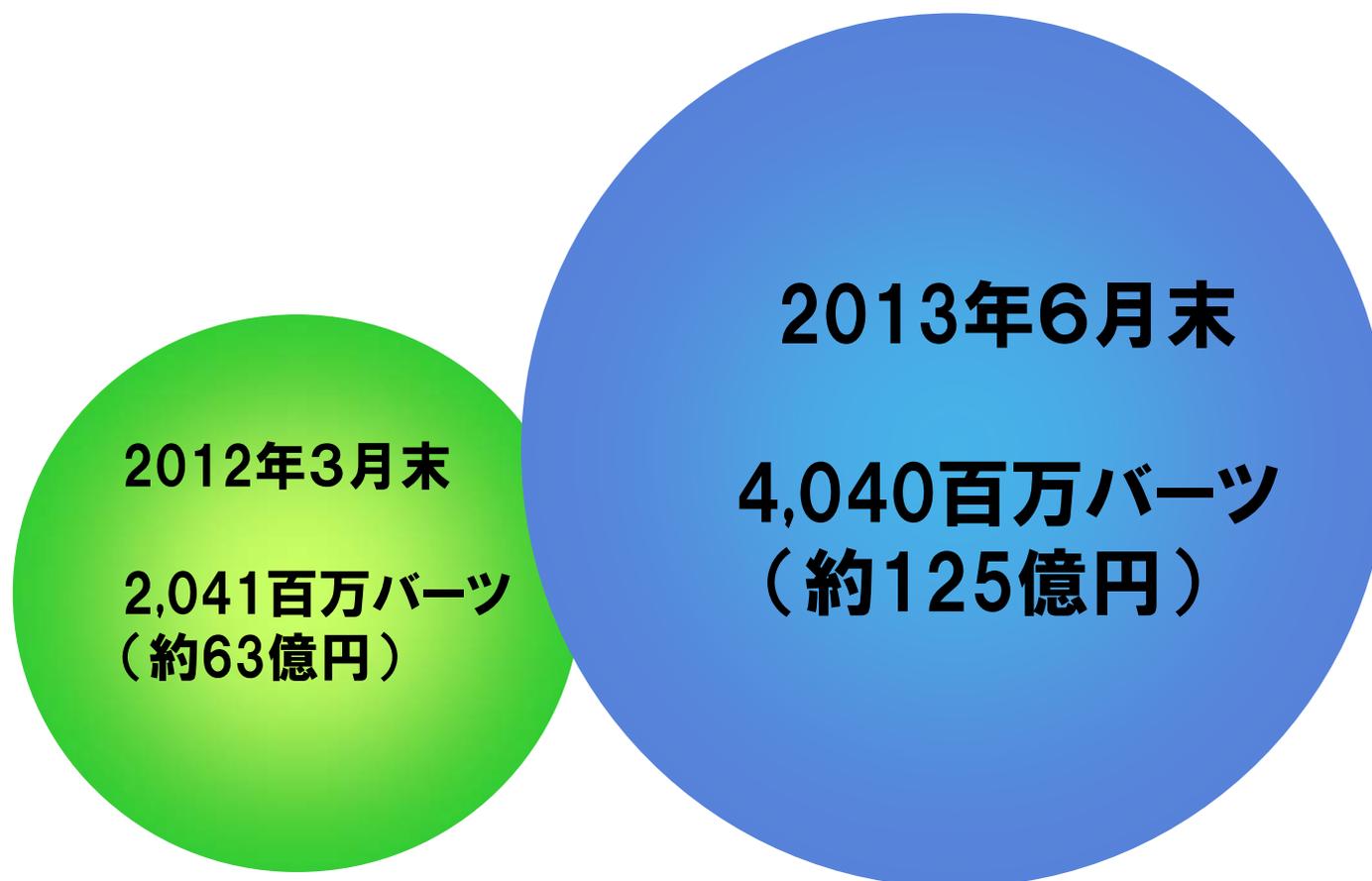
## 新規契約増の成果が収益に大きく反映

### ❖ セグメント利益

| 報告セグメント  |         | 2012年9月期 Q 3 | 2013年9月期 Q 3 | 前年同期比   |
|----------|---------|--------------|--------------|---------|
| ファイナンス事業 | 売上高     | 1,562,791    | 2,907,625    | 186.05% |
|          | セグメント利益 | 584,846      | 870,018      | 148.76% |

# 営業拡大で急速な貸出成長

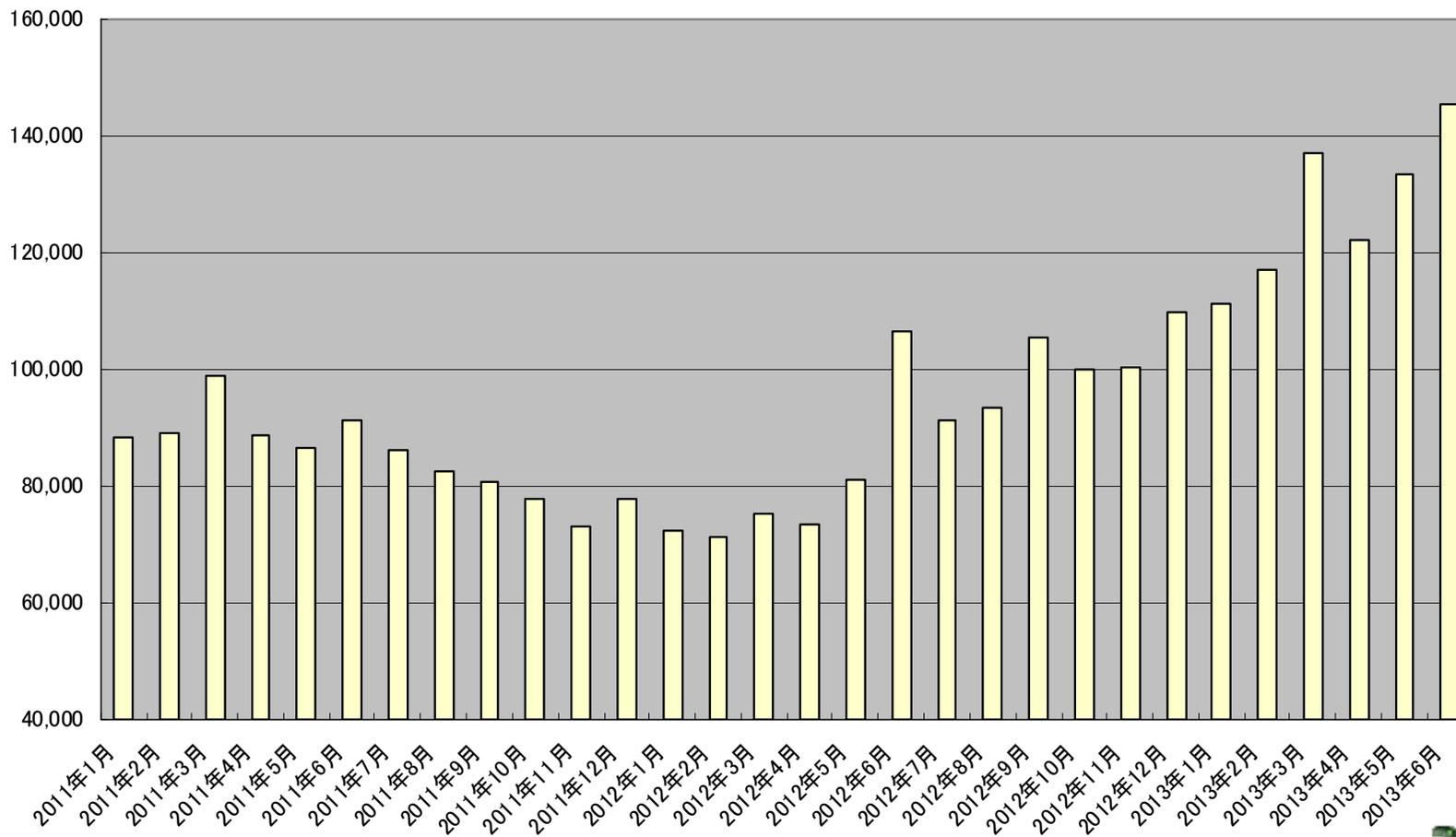
❖ 1年間で貸出総額(ポートフォリオ)は約98%の成長



※円建て額は2013年8月20日レートを採用  
便宜上1パーツあたり3.11円として算出

# ファイナンス事業 売上高の順調な伸張

Revenue



# 【コンテンツ事業】売上不調、苦戦が続く

(単位:千円)

| 報告セグメント |         | 2012年9月期<br>第3四半期 | 2013年9月期<br>第3四半期 | 前年同期比  |
|---------|---------|-------------------|-------------------|--------|
| コンテンツ事業 | 売上高     | 541,487           | 447,510           | 82.64% |
|         | セグメント利益 | 206,886           | 77,083            | 37.26% |

❖ カードゲームのロイヤリティ収入の低調が続く

❖ 編集事業も書籍出版点数減少で減収

❖ 新規カードゲームの売上を計上へ

- 受注済新カードゲーム第一弾が開発完了。今後毎四半期での継続的な売上計上を見込む

## 【その他の事業】Zeavola Resortの貢献

❖ Zeavola Resort の持分法適用投資利益は前年比で大きく伸張、過去最高に

|         | 2012年Q3 | 2013年Q3 | 前年比    |
|---------|---------|---------|--------|
| 売上高     | 377,796 | 510,032 | 135.0% |
| 持分法投資利益 | 22,556  | 63,790  | 282.8% |

# Zeavola Resortの特長

## ❖ タイ ピピ島の高級リゾート

- 島内最大のプライベートビーチ保有
- 顧客基盤を欧州中心からアジアの富裕層に拡張



# 高い顧客満足とリピート

## ❖ 大手旅行情報サイトでも常時高評価を維持

Facebook IDでログ

トリップアドバイザー®  
世界最大の旅行口コミサイト

ジボラ リゾート, ビビ島

ホテル名、施設

トップページ ビビ島 ホテル レストラン 観光情報 アワード 2013 あなたの友達 口コミを書く

トップページ > アジア > タイ > Krabi Province > ビビ島 > ビビ島 ホテル - 口コミランキング > ジボラ リゾート

### ジボラ リゾート ★★★★★

Zeavola Resort

11 Moo 8 Laem Tong, Koh Phi Phi | Ao Nang, Muang, Ko Phi Phi Don 81000, Thailand

ホテルの設備

1位 - ビビ島 (39件のホテル)  
617件の口コミ

宿泊プランを予約サイトから検索\*

チェックイン      チェックアウト      大人  
年/月/日      年/月/日      2

料金を表示

パートナーサイトの写真

- エクスぺディア
- Booking.com
- ホテルズドットコム
- Agoda.com
- HotelClub.com
- じゃらん.net
- Venere.com

投稿写真一覧 541件

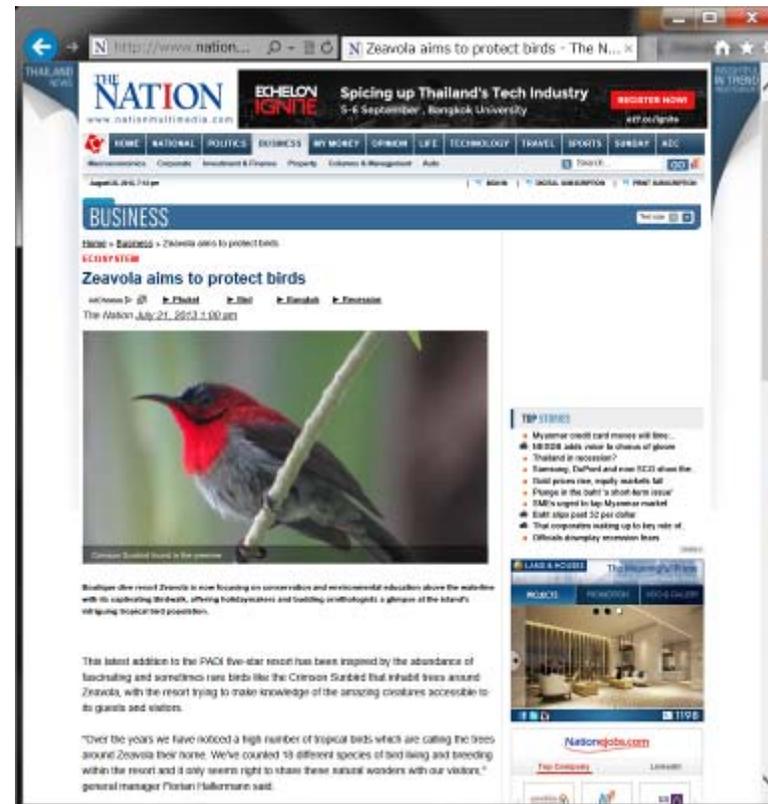
\*パートナーから提供

みんなの口コミ 617件

口コミを書く

# ナチュラルリゾートとして高い評価

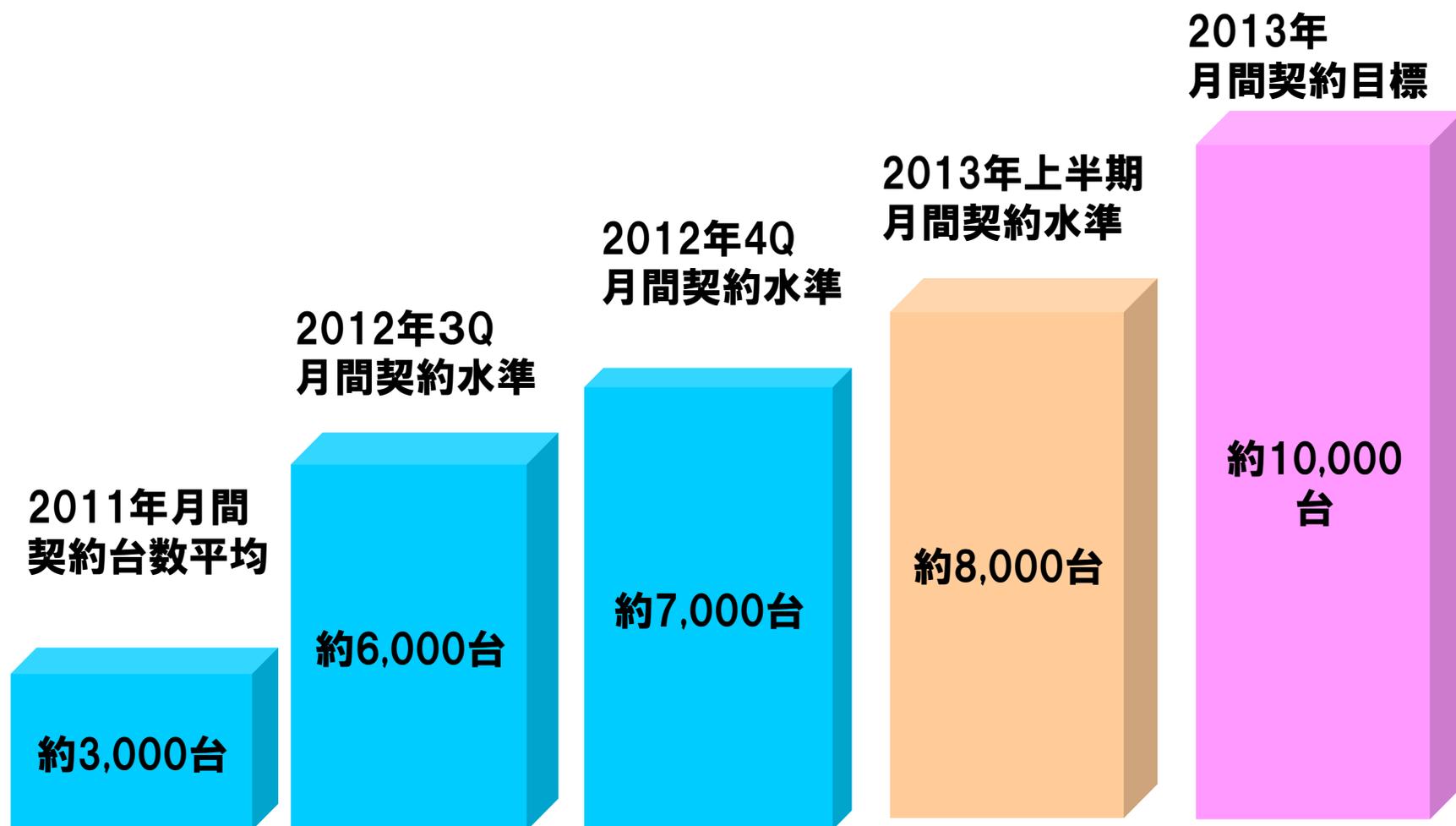
- ❖ 珊瑚礁や鳥類保護活動や環境教育で評価
- ❖ 独自の浄排水施設など持続型リゾートを目指す



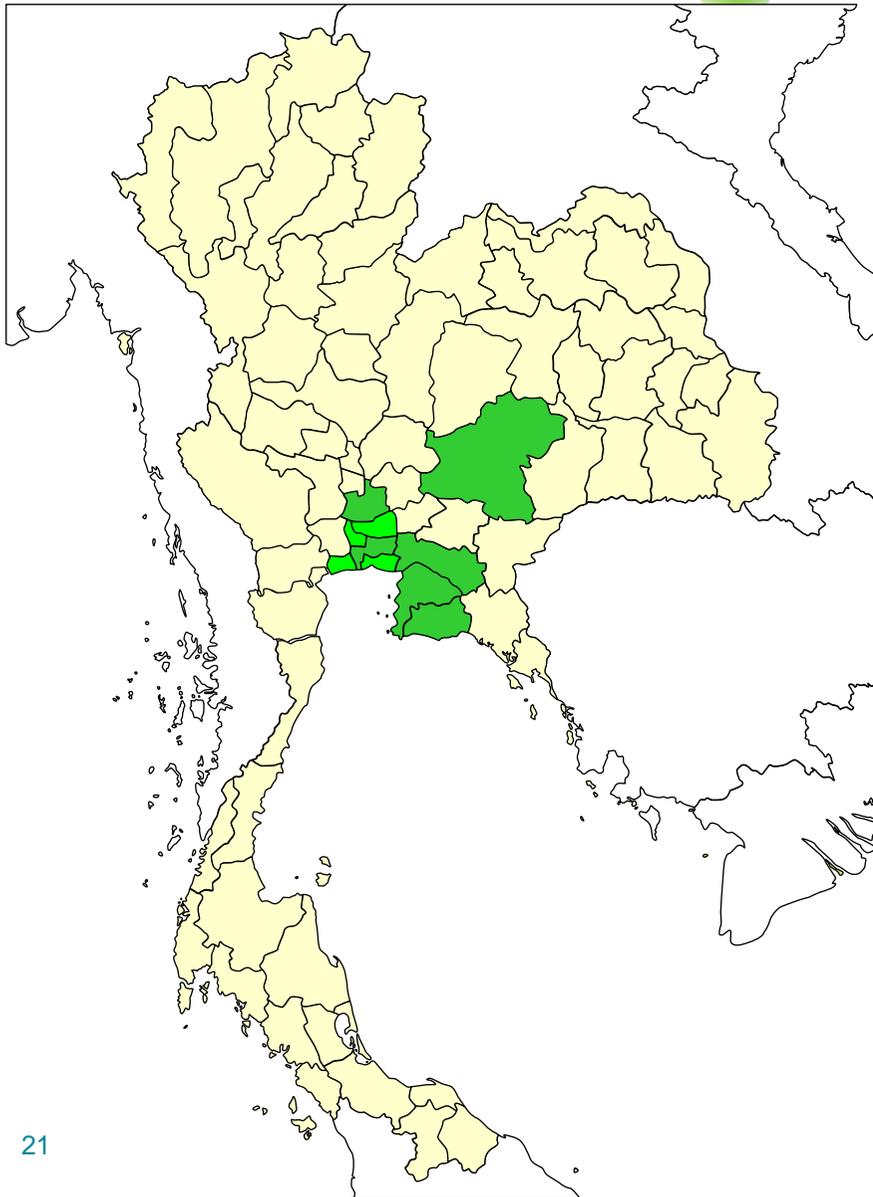
# 今後の取り組みと見通し

# タイ国内市場でも、一層の成長へ

## ❖ タイ国内ファイナンス事業は更なる事業拡大を追求



# タイ国内の地域的な営業拡大



## 2013年前半のGL営業地域

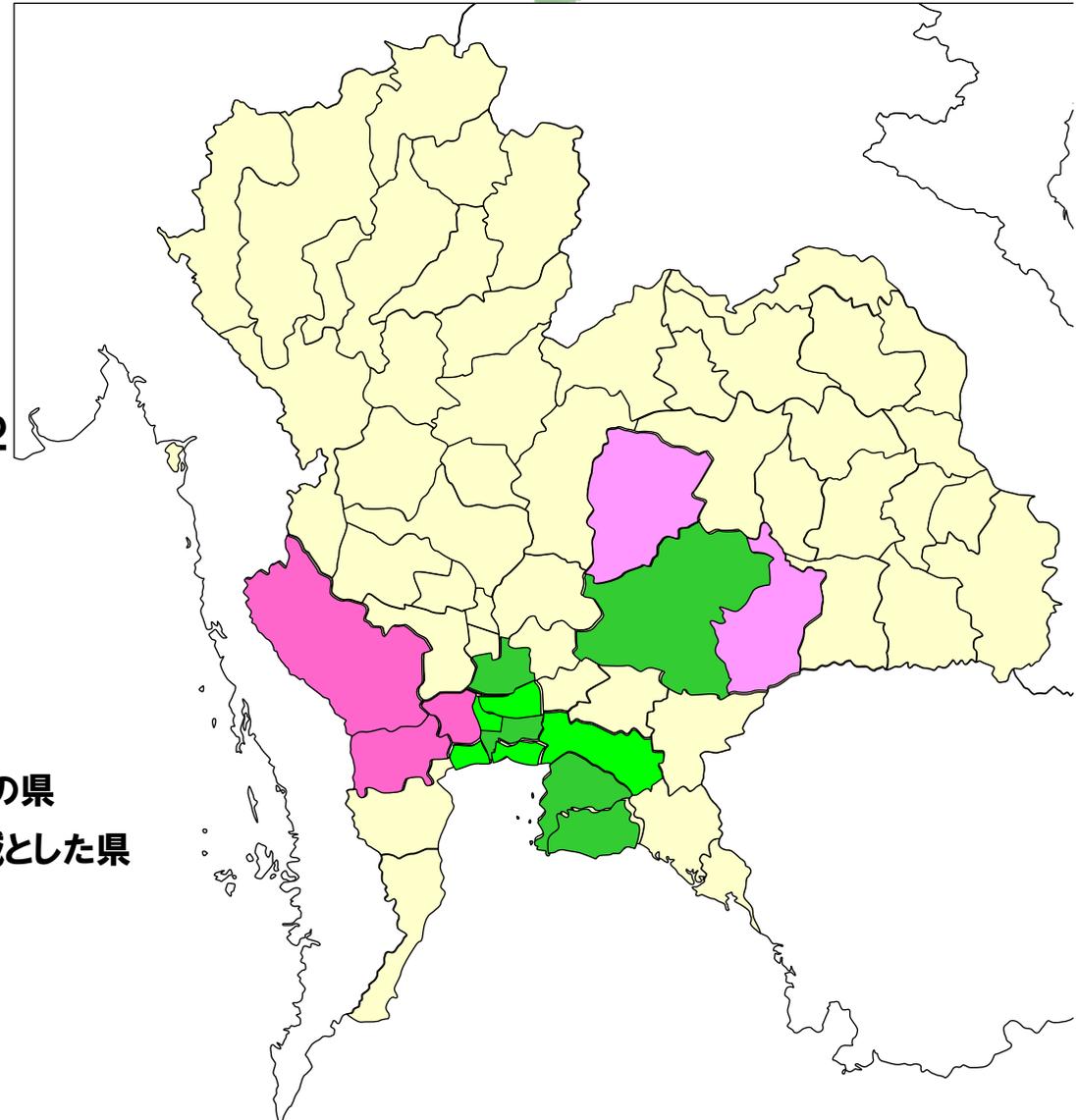
- GL本社および支店設置県
- 取引先ディーラーのある営業地域の県
- GLが支店を持たないタイ各県

# GLの地域拡大の歴史

## GLの営業拠点の拡大時期

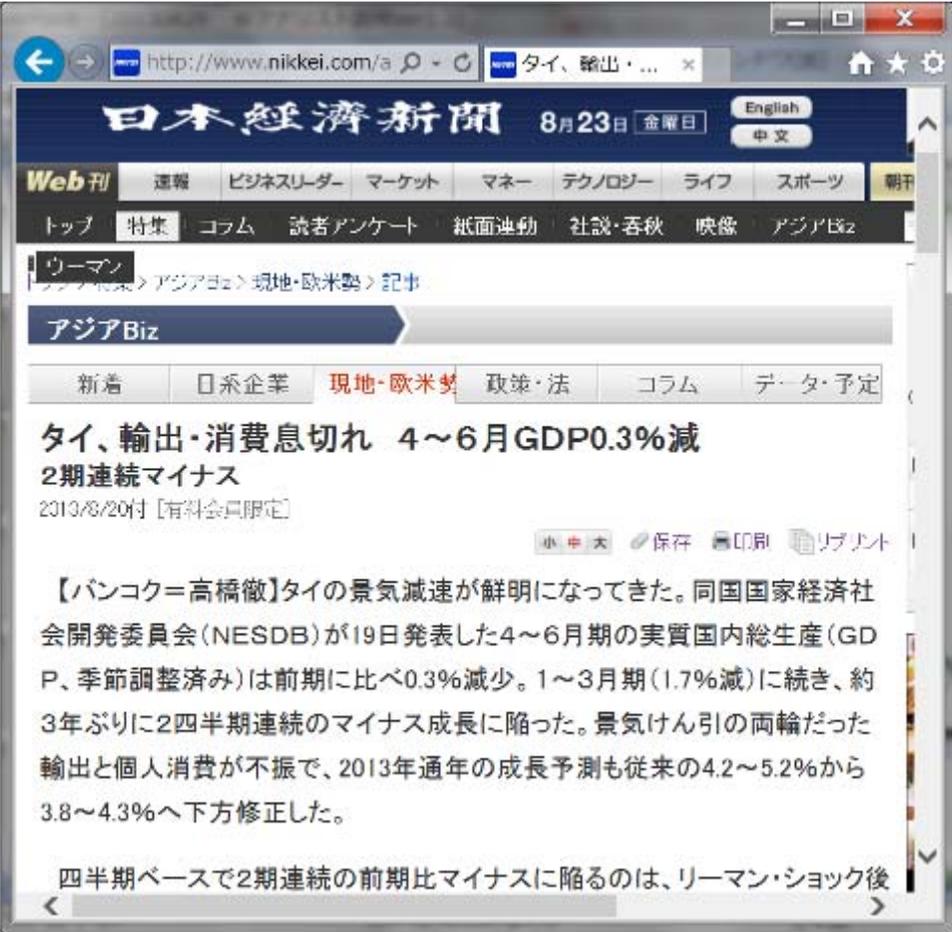
- 1. Head of office (BKK) May 1986
- 2. Ayutthaya July 2008
- 3. Amata (Chonburi) Sep 2008
- 4. Nakornrachasima July 2009
- 5. Rayong August 2009
- 6. Borwin (Chonburi) February 2012
- 7. Chaiyaphum August 2013
- 8. Buri Rum August 2013

-  GL本社および支店設置県
-  取引先ディーラーのある営業地域の県
-  本年8月に支店を設置し営業地域とした県
-  近日進出予定の地域
-  GLが支店を持たないタイ各県



# タイ国内 経済情勢

## ❖ GDP成長予測を下方修正



The screenshot shows a web browser window displaying the Nikkei website. The page title is "日本経済新聞" (Nikkei) dated "8月23日 金曜日". The main headline reads "タイ、輸出・消費息切れ 4~6月GDP0.3%減 2期連続マイナス" (Thailand, exports/consumption exhausted, 4-6 month GDP 0.3% decrease, 2 consecutive quarters negative). The article text states that the NESDB reported a 0.3% decrease in real GDP for the 4-6 month period, following a 1.7% decrease in the 1-3 month period, marking a return to negative growth after two consecutive quarters. It also mentions a downward revision of the 2013 annual growth forecast from 4.2-5.2% to 3.8-4.3%.

タイ、輸出・消費息切れ 4~6月GDP0.3%減  
2期連続マイナス  
2013/8/20付 [有料会員限定]

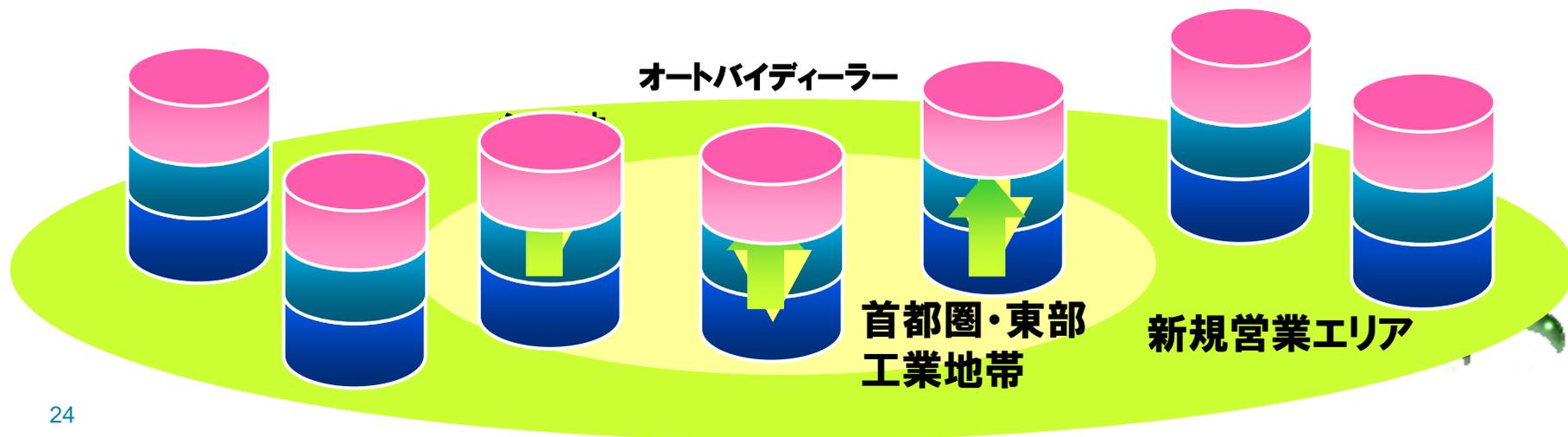
【バンコク=高橋徹】タイの景気減速が鮮明になってきた。同国国家経済社会開発委員会(NESDB)が19日発表した4~6月期の実質国内総生産(GDP、季節調整済み)は前期に比べ0.3%減少。1~3月期(1.7%減)に続き、約3年ぶりに2四半期連続のマイナス成長に陥った。景気けん引の両輪だった輸出と個人消費が不振で、2013年通年の成長予測も従来の4.2~5.2%から3.8~4.3%へ下方修正した。

四半期ベースで2期連続の前期比マイナスに陥るのは、リーマン・ショック後

# タイ国内は一層の収益力強化へ

## ❖ GLの営業施策： エリアドミナントから広域展開へ

- 2011年～2013年前半 エリア内営業強化によるポートフォリオの積極拡大
  - 重点目標 エリア内の新規ディーラー数拡大、ディーラー内取引シェア拡大による新規契約総数増加
- 2013年後半～ 新規営業エリア拡大と従来地域の債権の質強化による利益最大化
  - 重点目標 新エリアでのディーラー拡大 与信管理と回収の強化で優良顧客の比率向上





## カンボジア事業計画



### ❖ 2013年6月末 連結開始

- 商品ラインナップや付帯サービスの充実を進める
- 営業ネットワークの拡大を継続

### ❖ 2013年4Q(10～12月)に単月収益貢献化

- 地方展開を進めカンボジア国内の全ディーラーへの営業拠点設定

### ❖ 2015年末までに2012年タイ国内と匹敵する営業規模へと拡大

- ポートフォリオの蓄積に伴い売上・利益双方拡大
- 

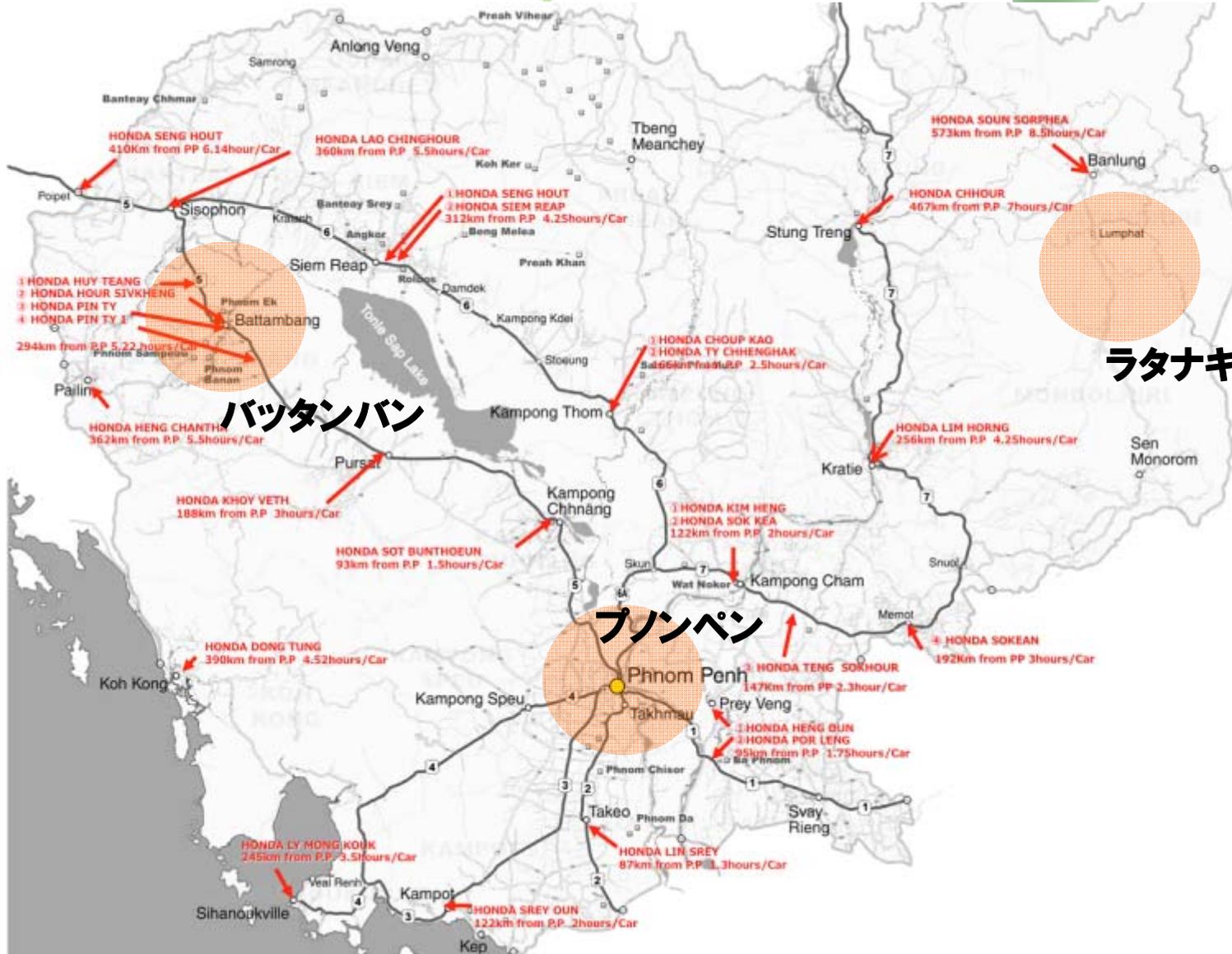
# 首都プノンペンでの営業体制確立

## ❖ 昨年首都エリアの全店舗内に営業拠点を開設完了



# Development foreseen in 2013

2013年はカンボジア全土へ展開へ



バットアンバン

プンペン

ラタナキリ

# コンテンツ事業の展望

## ❖ カードゲーム事業の開拓を推進

- グリーエンターテインメントプロダクツ様からの開発受託  
第二作品タイトルの「進撃の巨人」が発表

## ❖ カードゲーム関連の 周辺業務も拡張を進める



# 業績予想と目標 その他トピック

# 2013年9月期業績予想

## ❖ 通期業績予想を修正

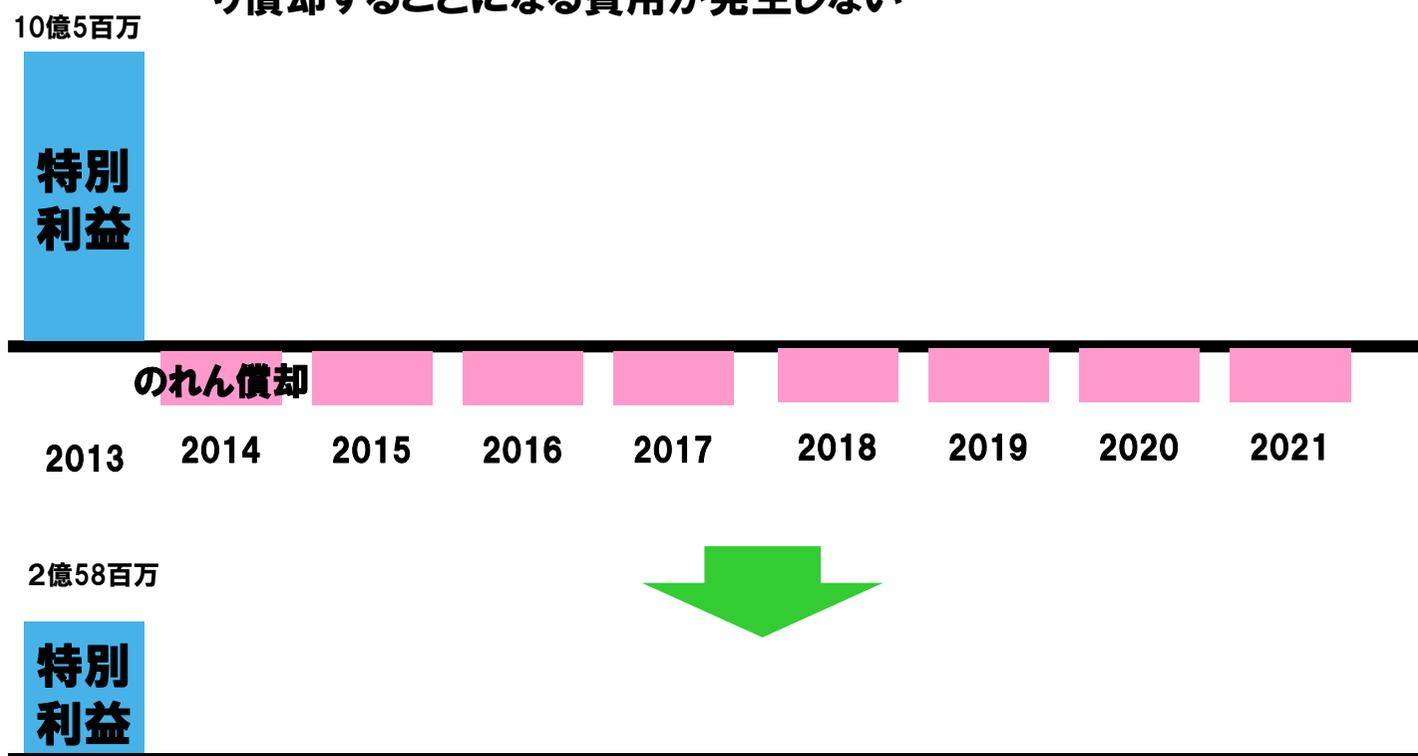
|       | 2012年度実績 | 2013年度<br>当初業績予想 | 2013年度<br>修正業績予想 |
|-------|----------|------------------|------------------|
| 売上高   | 3,319    | 4,500            | 4,900            |
| 営業利益  | 842      | 1,250            | 950              |
| 経常利益  | 894      | 1,250            | 1,050            |
| 当期純利益 | 172      | 1,400            | 650              |

- ファイナンス事業の累計契約増で増収傾向が顕著に。
- 有価証券売却により計上予定だった特別利益10億5百万の会計処理を変更、取得した有価証券の含み益として処理。
- 当該処理に伴い、特別利益として負ののれん発生益2億58百万、持分変動利益72百万が発生。

# 特別利益の処理変更の影響に関して

## ❖ 特別利益の計上予定変更による影響

- デメリット
  - 特別利益計上予定が10億5百万円のうち約7.5億円が減少
- メリット
  - 特別利益計上時に発生見込みだったのれんがなくなり、今後数年間にあたり償却することになる費用が発生しない





Thank you!

弊社IRに関するお問い合わせ先  
株式会社ウェッジホールディングス 経営管理本部  
TEL: 03-6225-2161 / FAX: 03-3548-0566  
wedge-ir@wedge-hd.com  
<http://www.wedge-hd.com>

※本資料には将来に関する記述が含まれていますが、これらの記述は将来の業績を  
保証するものではありません。また、本資料の内容に関しては未監査であり、その  
内容の正確性および確実性を保証するものではありません。